

長泉寺

〒700-0807
岡山市北区南方3丁目10番40号
TEL (086) 223-7450
FAX (086) 221-0302
振込 岡山 01250-6-6418
ホームページ www.chosenji.net

長泉寺だより 第352号

今年(こゝろ)は巳年(み)だ。蛇(へび)の一年(いちねん)となるわけだが、我が国(くに)には蛇(へび)の遣(つ)いとして大切(たいせつ)に扱(あつか)ってきた歴史(れきし)がある。

弥生(やよい)期(き)以降(いこう)、稲作(いなづま)の発展(はつぜん)に伴(とも)い米(こめ)が多く採(と)れるようになった。すると、その米(こめ)を食(た)べてしまう鼠(ねずみ)が増(ぞ)加(か)。我々(われわれ)の祖先(せんぜん)も大変(たいへん)困(こ)ったと思(おも)うが、それ(それ)を救(すく)ったのが蛇(へび)だ(だ)った。蛇(へび)は鼠(ねずみ)を食(た)べるのである。そして蛇(へび)は、我々(われわれ)の生命(いのち)と生活(せいかつ)をまもる守護(しゅご)神(かみ)とな(な)った。

蛇(へび)を信仰(しんぎょう)するの(の)は日本(にっぽん)だけ(だけ)ではない。たとえばエジプト(えじぷと)では、蛇(へび)は王室(おうしつ)の守護(しゅご)神(かみ)であり、ファラオ(ファラオ)の王冠(おうかん)には聖蛇(せいだ)ウラエウス(ウラエウス)が描(えが)かれる。ギリシヤ(ギリシヤ)神話(しんわ)にはゴルゴン三姉妹(さんせいまい)やエキドナ(エキドナ)などの蛇神(へびのかみ)が多く登(のぼ)り、古代(こくたい)マヤ(マヤ)のククルカン(ククルカン)、

へび 蛇

ひともし

アステカ(アステカ)のケツアルコアトル(ケツアルコアトル)、これ(これ)らもすべて蛇神(へびのかみ)である。

仏教(ぶつこう)誕生(たんとしん)の国(くに)インド(いन्द)では、蛇(へび)を古語(こご)で「ナーガ(ナーガ)」と呼(よ)び、仏法(ぶつぽう)を護(まも)る竜(りゅう)と体(てい)に観(かん)る。

それが中国(ちゆうごく)へ渡(わた)ると、竜(りゅう)は皇帝(ていおう)の象徴(しょうてい)となり、さら(さら)に我が国(くに)に及(およ)ぶと山の神(かみ)、水(みづ)の神(かみ)、田(いり)の神(かみ)ともな(な)った。神仏(しんぶつ)習合(じゆくわ)の時代(じだい)には、蛇(へび)は宇賀(うが)神(かみ)と化(くわ)して間(ま)もなく弁才(べんさい)天(てん)と習合(じゆくわ)。当山(とうざん)鎮守(ちんじゆ)も弁才(べんさい)天(てん)であるが、巳(み)の日(ひ)には近年(こゝろ)多くの参拝(さんぱい)者(しや)を集(あ)める。巳年(みねん)の今(いま)は尚更(なほさら)である(である)う。

かつて一家(いっか)の守(まも)り神(かみ)だと珍重(ちんじゆう)されたアオダイシヨウ(アオダイシヨウ)も近年(こゝろ)はほとんど見(み)かけなく(なく)な(な)ったが、今年(こゝろ)こそこのグローバル(グローバル)な守護(しゅご)神(かみ)にあ(あ)りやかりたい。世界(せかい)に広(ひろ)がる混(ま)乱(らん)と悲劇(ひがく)を、どう(どう)か鎮め(しず)め治(な)めて下(くだ)さい、と。(と)。(龍(りゅう))

除災招福 厄除祈願

節分 星まつり

2月2日(日) 19時~20時

厄年(えねん)の御方(ごなた)は お菓子(おかし)やお餅(もち)など(など)をお供(おとも)え下(くだ)さい

節分(せぶん)祈願(きがん)札(しやく)をご希(ごねが)いの方は 当山(とうざん)ホームペー(ホームページ)より

もしくは別紙(べつし)案内(案内)用紙(ようし)をご記(ごき)入(いり)の上(の上)寺務(じむ)所(しょ)まで申(ま)込み下(くだ)さい (千円(せんげん)ー一願(いっくわん))

お供(おとも)えのお菓子(おかし)の一部(いっぶ)は 児童(こども)養護(やうご)施設(しせつ)「若松園(わかまつゑん) 様(さま)に寄(よ)付(つ)さ(さ)せていただ(いた)きま(ま)す

厄払い豆まき

備前太鼓獅子舞



令和7年、明けましておめでとございます。

皆様方には日ごろからお寺のことにつきまして、ご支援ご協力をいただいておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

今年には巳年。巳は蛇のことですね。蛇というと私も苦手な爬虫類で、怖い印象を持つ方も多いと思いますが、実は「再生と成長」という前向きなイメージもあるそうです。脱皮しながら強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。そう考えると恐怖心も薄らぐかもしれませんね。

お寺のことについて触れさせていただきますと、コロナ禍も明けて昨年からは、月例行事、例年行事、節分祭や観音夏祭りなどについても、以前の状態に戻りましたので、大勢の方たちにご参加いただいております。

先日、私が長泉寺総代の一員であることを知った友人から「長泉寺といえば、岡山で一番元氣のあるお寺ですね」と言われて、とても誇らしく感じました。皆さん方もこのお寺の檀信徒であるという誇りを共有していただいて、さらに発展させて行くようお力添えをいただければ幸いです。

総代会といたしましても、今後とも適切な寺運営に当たってまいりたいと考えております。

結びに、本年が皆さんとご家族にとり、より良き年となりますことを祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しく願っています。



長泉寺 檀信徒総代長 岩見徹

新春のお慶びを申し上げます

さて昨年は正月早々に能登半島地震が発生し秋には再び能登地方が豪雨災害に見舞われるなど 夏場の酷暑を含めて気候変動による脅威の高まりをあらためて一層に感じる一年となりました

また海外では平和の祭典オリンピックがフランス・パリで開かれる一方ロシアによるウクライナ進行は続きパレスチナ・ガザ地区などの人道危機も拡大 米国ではメジャーリーグ大谷翔平選手が五十本塁打・五十盗塁という前人未到の活躍で所属球団であるドジャースを世界一へと導く中 米国ファーストを強く掲げるトランプ氏が大統領に再任 グローバル時代と言われて久しいですがその反動のようなものが世界各地に顕在化しておりそれは今後ますます拡がっていくだろうと不安ながらも予想されます

本当に何が起きるかわかりませんが何があっても不思議ではない時代です 諸行無常は世の常ではありますがだからこそ仏道をしっかりと歩んでいく必要があるでしょう

檀信徒皆様におかれましてはそんなときだからこそより一層に菩提寺を親しんでいただき 仏さま お大師さまのお導きに触れていただけたらと切に願っております

皆様の一年のご健康ご多幸を心より祈念申し上げます

合掌



令和七年乙巳 正月吉祥日

長泉寺 住職 龍門

本尊薬師初縁日

大般若法会

本尊薬師如来の新年最初のご縁日にあたる正月八日、檀信徒皆様の一年の無事安寧を祈願する「大般若法会」を奉修いたしました。

ご参集いただいた有縁の寺院皆様とともに、当山本尊、並びに般若十六善神の御宝前に『大般若波羅蜜多經』を力強く転読し、檀信徒皆様にとつて本年が健やかで幸多き一



年となるようご祈念させていただきます。いただいた次第です。

法会後には、小坂俊郎さんをはじめとする「雅楽五声会」の皆様より、我が国の伝統音楽である雅楽を奉納いただき、ご参拝の皆様とともに新春を寿ぐ時間を持つことができました。

関係者皆様には、心よりお御礼申し上げます。



終い弘法萬燈会

岡山市内の真言宗寺院で結成される「岡山市弘法大師降誕会」(事務局当山内)は、昨年十二月二十一日、令和六年の最後となる大師御縁日(毎月二十一日)に合わせて、一年の反省(懺悔)、並びに感謝を捧げる「終い弘法萬燈会」を奉修しました。



会場となったのは、北区磨屋町にある高野山真言宗金剛寺様の駐車場で、その中心にはお大師様の種字である「卍」字がカップローンクで灯されました。本尊大師尊像の前では参拝者それぞれが一年の反省(懺悔)を書いた紙を水に流す「流水回向」が修されるとともに、一年の感謝を書いたカップローンクが献灯されました。小雨が降り、冷たい風も吹

く寒い夜でしたが、七十名ほどの方がご参拝され、心新たに新年を迎えようとお大師さまにお祈りを捧げました。

同会は、お大師さまのご誕生を慶祝するため、大正八年より毎年六月十五日に「弘法大師ご誕生慶祝 青葉まつり」を主催しています。本年は御成町の真言宗御室派大福寺様で奉修されますので、檀信徒皆様にはお繰り合わせお参りいただけますと幸いです。



故・金田勉総代 褒章

昨春秋にご逝去された故・金田勉総代を偲ぶ会が先月十九日、当山で開催されるとともに、今般、総本山仁和寺ご門跡・瀬川大秀大僧正猥下より金田氏の当山への功績を称える褒章状が授与されました。当日は、日本画を嗜まれた金田氏の遺作が会場に飾られ、氏と長年にわたって交流を深めた総代役員様らと共に思い出を語り合いました。



ご詠歌巡礼



当山御詠歌会は、「ご詠歌巡礼」を続けております。

昨年十二月十七日は、一三〇〇年前に報恩大師が開かれた「備前四十八ヶ寺」の一つ天台宗餘慶寺様（瀬戸内市邑久町北島）と同宗大賀島寺様（同町豊原）を参拝しました。餘慶寺様では、戦国末期建立・江戸中期再建の本堂（国指定重文）を同寺塔頭の定光院・西野祐誠ご住職にご案内いただき、本尊千手観音菩薩の御前でご詠歌を奉納させていただきました。

除夜の鐘

昨年の大晦日、毎年恒例の「除夜の鐘」を奉修しました。当日は穏やかな天候に恵まれ、二〇〇名近くの方々のご参拝。皆様には、去る年への感謝と、来る年への希望を胸に一人ずつ鐘を撞いてもらい、住職よりお加持をさせていただきました。

また、当山檀家である備前味噌醤油株式会社様の「甘酒」を参拝者へのお土産とし、お接待では温かい豚汁が振る舞われました。



能登半島地震一周忌

本年一月一日、「令和六年能登半島地震」より一年を迎えるにあたり、同震災発生時刻に合わせて午後五時半より一周忌法会を本堂にて奉修しました。

元旦ということで龍門住職一人での勤めとなりましたが、被災物故者を弔うとともに被災者皆様の安寧を至心に祈らせていただきました。

また本年は、平成七年阪神淡路大震災より三十年を迎えます。忌日にあたる今月十七日には、RNN人道援助宗教NGOネットワーク（事務局・黒住教）に加盟する諸宗教の皆様が当山に参集され、同震災三十周年忌の追悼法会を奉修する予定です。



寺子屋文化講座が五十回

平成二十七年七月より隔月で開講してきた「長泉寺 寺子屋文化講座」が、本年三月分の開催で五十回目を迎えます。その記念として、岡山出身の民俗学者・神崎宣武先生（かんざきのりたけ）をスペシャルゲストにお招きし、左記の通り特別講座を開催します。

ご参加を希望される御方は、当山までご連絡下さい。

長泉寺 寺子屋文化講座

開講五十回記念特別講座

講師…神崎 宣武 先生

日時…三月二十五日（火）

午後7時～8時半

会場…本堂

参加無料

要事前予約

定員六十名



寺子屋文化講座
長泉寺

年間大師塔婆供養

毎月二十一日の「大師縁日法会（弘法大師御影みえく供）」にて、お申し込みいただいた檀信徒各家の精霊に回向を捧げるため、塔婆供養を一年にわたって奉修しています。

ご供養を希望される御方は、「大師縁日 年間塔婆供養申込書（寺務所）」に必要事項をお書きの上お申し込みください。

◆年間 大師塔婆供養

経木塔婆 一基二〇〇円

※一年間二、四〇〇円



とんど焼き

一月十四日、当山境内にて毎年恒例の「とんど焼き」を奉修しました。

ご参拝の皆様とともに、お正月飾りや昨年までの古札、御守護、卒塔婆などをお焚き上げし、心身を浄め、健やかに一年を過ごせるよう祈念させていただきました。

お手伝いいただきました皆様には感謝申し上げます。

長泉寺杖心会

京都御室仁和寺と高野山参拝の旅

4月12日（土）～13日（日）

杖心会はこの春、当山長泉寺の総本山である「御室仁和寺（おむろにんなじ）と弘法大師様」に入定の霊地「高野山」を参拝します。費用、旅程詳細は次号「いづみ」にてお知らせ、「案内」させていただきます。ご興味のある方にはぜひご予定下さい。

主催 長泉寺杖心会

長泉寺の縁日法会

毎月8日10時～ 本尊縁日法会
法話 / 写経

21日10時～ 大師縁日法会
法話 / 写経 / 空海プログラム（法話） / お接待

28日10時～ 不動縁日護摩供
必生不動明王護摩供養 / 不動真言念誦行

コラム 神仏習合③

さて、前回に引き続き「神仏習合」のご紹介です。今回は、その全盛時における思想的な内容のお話です。

本地垂迹説の登場

我が国古来のカミ（神）と大陸より伝来したホトケ（仏）は、奈良時代までに相互に守護し合う形で「神仏習合」の関係性を深めていきました（前号参照）。平安時代になると、「神とは本地の仏が姿を変えて仮に現れた（垂迹した）ものである」という「本地垂迹説」が登場します。

平安期と言えば、弘法大師様が唐より密教を持ち帰られ、真言宗と天台宗が隆盛する時代です。密教は我が国古来の神祇信仰との親和性が高く、神仏習合も密教と伴に発展しました。そもそも「本地垂迹

説」の「本地」とは「事の本質・本源（＝密）」、「垂迹」は「本地が化現する・現象（＝顕）」と言う意味で、この発想自体が密教的でもあります。

『法華経』というお経では、その前半部分を「迹門」、後半部分を「本門」とし、本門に説かれる真理（＝佛陀）に對して、迹門に説かれる歴史上の釈尊を「佛陀が釈尊として仮に現れた姿（迹）」だとします。密教ではさらに「三輪身」が説かれます。それは、仏そのものである如来仏を自性輪身とし、仏が菩薩として現れる姿を正法輪身、明王として現れる姿を教令輪身とするもので、仏は衆生の機根に合わせて様々に姿形を変え、という内容です。

そのような思想を背景として、「本地垂迹説」は平安後期から中世にかけて全盛を迎え

ることになります。特に当時、天皇の護持僧であった成尊（小野曼荼羅寺第二世）現在の真言宗隨心院）は、「我が国は大日如来の本国＝大日本国である」との論を生み出し、さらには天皇を大日如来と同一に観るようになると「即位灌頂」という天皇即位礼も誕生しました。密教と神祇の融合は、我が国の国体にも及ぶところとなったのです。

そのような流れは大きく二



金剛界曼荼羅



胎藏曼荼羅

つに分かれるところとなります。一つは真言密教系の「兩部神道」、もう一つは天台密教系の「山王神道」です。

なお、神仏習合全盛期の実態は未だ研究調査の途中であり、その全容まではわかっていません。ここでは、現在までの各種研究で知り得た範囲に限ってのご紹介となります。

兩部神道

真言密教の影響を多分に受けて発展する「兩部神道」とは、真言教主大日如来が本地の仏で天照大神はその垂迹神であるとしたものです。それは当初、伊勢神宮周辺で展開され、伊勢内宮は胎藏大日、外宮は金剛界大日であるとされました。それは後に、伊勢外宮の社家人渡会氏によって形成される「伊勢神道」へとつながり、さらには室町期以降盛んになる「吉田神道」に

も多大な影響を与えることになりません。

両部神道の中にはさらに大きく二つの流れがあり、その一つが大神神社や真言宗長谷寺（ともに奈良県桜井市）に興る「三輪流神道」、二つには真言宗室生寺（奈良県宇陀

市）に関わる僧侶たちによって始まった「御流神道（大師流神道）」です。

大和国の一宮である大神神社には、明治の神仏分離にいたるまで「大御輪寺」という神宮寺がありました。同寺では、京都醍醐寺系の真言教学を基にした独自の神道論が発達。密教儀礼である灌頂が神道式で開蕙されるなど、言わば真言密教的な神道が大いに実践されました。

もう一つの「御流神道」も真言密教的な神道でありますが、お大師様が室生山の精進峯に埋められたと伝わる如意宝珠を天照大神と

神道灌頂三輪流血脈（高野山大学蔵）

神道灌頂三輪流血脈	國常立尊	國授穂尊
豊斟淨尊	泥工賣尊	沙工賣尊
大戸道尊	面足尊	麿根尊
大戸邊尊	麿根尊	
伊弉諾尊	天照太神尊	
伊弉册尊	天照太神尊	
忍徳耳尊	疾瓊瓊杵尊	
疾火火出見尊	鸚鵡草尊	不金
神武天皇	綏靖天皇	安寧香
懿徳天皇	孝照天皇	孝安天皇
孝聖天皇	孝元天皇	閑化天皇
宗神天皇	垂仁天皇	景行天皇
成勢天皇	仲哀天皇	神功皇后
應神天皇	仁徳天皇	履中天皇

部神道の流れは幾つかあるのですが、未だ研究途中にあり、よくわかっていません。

山王神道

他方で天台宗では、比叡山東麓にある「日吉大社」（滋賀県大津市）を釈迦如来の垂迹とし、比叡山と日吉大社が対を成して天台密教系の神仏習合思想を展開します。それを「山王神道」と言います。

「山王」とは、伝教大師最澄様が学ばれた中国天台山にある聖地「山王祠」に由来するものと考えられますが、その内容については同宗が大切にする三諦（空諦・仮諦・中諦）が円融（円かに融け合う）する状態を一心に観ずる境地（一心三諦・三諦即一）とされます（「三」を縦に、「一」を横に書いて「山」。「三」を横に、「一」を縦に書いて

「王」）。

また、古来より比叡山は修験が盛んな霊山であり、「三」は日吉宮より遥拝できる神体三山（大比叡峰・小比叡峰・八王子山）の意でもあります。三諦円融は即ち日本の神祇とも一体で、一切衆生に本来備わっているもの（天台本覚思想）であると説くのです。

天台教学によって理論化が進んだ山王神道は、江戸時代に「山王一實神道」と称されます。それは特に徳川家康・家光らに重用された慈眼大師（天海大僧正）によって奉祀され、江戸のみならず備前岡山を含む全国に大きな影響を与えるのですが、それはまた次回とさせていただきます。

（次号へ続く）

《参考文献》

『天神神社史料』大神神社・「中世の神と仏」末木文美士・『神仏習合の聖地』村山修一・『神仏習合』遠日出版・『神道とは何か』伊藤聡

長泉寺合唱団ナーガが出演♪

コンサート 環 KAN

2月2日(日) 於ルネスホール

開場午後2時 開演午後2時半

おかも旧日銀ホール岡山市北区内山下一六一二〇

一般前売・当日共に 一五〇〇円 中学生以下無料

ナーガをはじめ、佐々木英代先生が指揮を取られる各合唱団が出演します。
ぜひご来場ください。

主催：コンサート「環」実行委員会、他

令和七年乙巳 年回忌表

- 一周忌 令和 六年没
- 三回忌 令和 五年没
- 七回忌 平成 三十一年没
- 十三回忌 平成 二十五年没
- 十七回忌 平成 二十一年没
- 三十三回忌 平成 五年没
- 五十回忌 昭和 五十一年没

弔いご供養というものは継続的な積み重ねが大切です

年忌法事は忘れないように気をつけましょう

涅槃会

2月15日(土)午後2時~4時

於：玉佛堂

釈尊の遺徳を称えるため、堂内に涅槃図を掲げ、常樂会という法会を奉修します。

どなた様にも、どうぞご参拝下さい。



長泉寺 寺子屋 文化講座

Vol. 49

1月21日(火)19時~20時半 於 長泉寺本堂

参加無料・要事前予約 TEL:086-223-7450

参加ご希望の方は、事前にお電話でお申込み下さい。

「池田綱政の文化的事績」

講師：浅利尚民 先生 就実大学人文科学部教授

将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中
参加無料

■80回目

1月26日(日) 13:30-16:00

■81回目

2月11日(火祝) 13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくやっています。どなたでもお気軽にご参加ください。

長泉寺の公式ホームページをぜひご活用下さい

長泉寺 南方

検索

住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報がご覧になれます